

桶川飛行学校平和祈念館企画

「平和の使者－青い目の人形物語」の上映

1927(昭和2)年11月10日、パスポートを持った日本人形58体が
よこはま
横浜港からアメリカに向けて出発しました。これは日本の実業家
しぶさわえいいち せんきょうし
であった渋沢栄一氏とアメリカ人宣教師グーリック氏が中心と
たが
なり実施した事業の一環で、お互いの国の子どもに人形を贈るこ
そうご しんぜん はか
とで相互の親善を図るものでした。

今回上映するアニメーション作品はこの渋沢栄一氏が行った
こくさい かんれん
国際親善事業に関連する作品です。

なお、上映する作品は埼玉県平和資料館が所蔵す
しょうぞう
るDVDとなります。



上映期間 令和5年11月3日(金・祝)から
令和5年11月19日(日)まで

休館日 毎週月曜日

上映時間 ①午前11時
②午後2時 (各回約30分程度)

入館料 無料

申し込み 不要



桶川飛行学校平和祈念館

〒363-0027

埼玉県桶川市大字川田谷2335番地の16

電話：048-778-8512

Mail：hikogakko@city.okegawa.lg.jp

○電車でお越しの場合

JR高崎線桶川駅西口より東武バス「川越駅行き」乗車→
「柏原」バス停下車 徒歩5分

○車でお越しの場合：桶川北本ICより車で10分
県道12号線太郎右衛門橋の側道へ入る。

I. 作品のあらすじ

「^{せんそう}どうして、戦争だと青い目のお人形さんと仲良く^{なかよ}しちゃいけないの？」

^{しょうわ}1927(昭和2)年、アメリカから日本の多くの学校や幼稚園に友情^{ようちえん ゆうじょう}の人形として、青い目の人形が贈^{おく}られました。しかし戦争がはげしくなると多くの人形が、敵^{てきこく}国人形としてこわされたり、焼^やかれるなどの運命^{うんめい}をたどりしました。

1943(昭和18)年、埼玉県越谷^{さいたまけんこしがや}の大沢国民学校^{おおさわこくみんがっこう}に通う和寺千夏^{わでらちなつ}は学校^きでたまたま見つけた青い目の人形^{あそ}を気に入り、こっそり遊^{あそ}んでいましたが、ある日、教頭^{きょうとう}に見つかってしまいます。職員会議^{しょくいんかいぎ}で人形^{すく}をどうするか話し合いがされる中、千夏は人形を救おうと人形^だを抱^にいて逃げ出^にしてしまいます。

II. 青い目の人形とは

青い目の人形は、アメリカ人宣教師^{たが}グーリック氏と日本の実業家である渋沢栄一氏^{たが}が中心となり、人形を通してお互いの友情^{りょうこく}と交流を図り、日本とアメリカ両国の国民の理解と親善を深めようと日本に贈られた人形です。(日本からは振袖姿の日本人形が贈られました。)

青い目の人形は太平洋戦争が始まると敵国であるアメリカやイギリス^{こわ}の文化の^{くうしゅう}ものとして、壊^たされたり、空襲^たによって建物ごと焼かれてしまったりするなどして、その数を減らしていきました。そのような中^{ほご}でも人形を大切に守り、保護した人々の手によって、^{げんざい}現在でも全国で300体あまりの人形が残っています。^{のこ}